会員の種別

正会員（年会費：10,000 円）
　本学会の目的に賛同する個人
購読会員（年会費：8,000 円）
　学会誌の定期購読を希望する個人または法人
学生会員（年会費：5,000 円）
　本学会の目的に賛同する大学学部生及び大学院生
賛助会員（年会費：50,000 円）
　本学会を支持する法人

入会の方法

　入会申込書に必要事項をご記入の上、入会申込専用アドレス（jsim@asas-mail.jp）までメールでお申込みください。不明な点がございましたら、事務局へご連絡ください。

日本情報経営学会事務局

e-mail jsim.secretary@gmail.com　URL https://jsim.gr.jp/

上田泰研究室（成蹊大学内）
　〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

日本情報経営学会

入会のご案内

Japan Society for Information and Management

日本情報経営学会（JSIM）

入会のすすめ

ボーダーレス時代を迎えた今日、情報を経営の枠の中であらためて考え直すことの積極的な意味が問われています。非連続的状態や予測不可能な状況の日常化のなかで、唯一頼りになるのは、情報のもつ固有の機能や役割であると考えられます。高品質な情報特性、問題提起的・発見的な情報特性、環境検索型情報特性、意味のあいまいな意思決定を支援する情報特性などは、限りなく人間系や経営系を推進する情報システム構築に欠かせません。

当学会では、企業やその他の組織体の健全な発展とそれらの運営主体である人間の健全な成長を研究対象としています。そして、特に情報のもつ包括的、連続的、創発的な機能や役割の支援によって、優れて相補的な関係性の実現に資することを学会の使命と考えています。

そのためには、必然的に組織体や人間社会が相互に生み出す健全な姿を想定し、理論及び実践の両面から考究する必要があります。そして、情報システムにかかわる理論と実践、研究と実務、基礎と応用、技術と人間などの有機的相互関係を学際的に展開することになります。すなわち、社会科学および人文科学、自然科学との統合理論の構築が不可欠となりつつあります。

本学会の活動を一層実り多いものにするためには、皆様のご援助ご協力に頼らねばなりません。つきましては、なにとぞ本学会の趣旨にご賛同賜りまして、ご入会下さいますよう、ご案内申し上げます。

本学会の経緯

当学会の前身は、1979年11月に設立されたオフィス・オートメーション学会(略称：OA学会)です。「オフィス・オートメーション」という概念のもとに、まさにオフィス・システムそのものにとどまらず、経営システム、企業システム、そして経営情報システム、社会情報システムなど各種の情報システム現象を理論的・実践的に研究する学際的な場として活動を行っていました。経営学を基軸において学際的な情報システム論的研究を掲げたわが国最初の学会であり、日本学術会議第３部会の所属学会として当該研究領域の発展において一貫して中枢的役割を担ってまいりました。

しかし近年の情報化の進展は、より広範な研究を必要としています。そこで、2007年4月1日より、新たなビジョンを掲げ、日本情報経営学会(略称：JSIM)と名称を変更して活動を続けています。

本学会の主な事業

Ⅰ．全国大会の開催(春・秋２回)

Ⅱ．学会叢書の発行

学会として推進する課題に対して特別研究プロジェクトを構成して推進し、成果を叢書にまとめています。

第一巻　情報インターフェースの構図
第二巻　組織能力形成のダイナミックス
第三巻　組織コンテクストの再構成

Ⅲ．日本情報経営学会誌の発行(年４冊)

Ⅳ．投稿論文の審査

会員より投稿された論文を２名のレフェリーにより審査し、審査付き論文として学会誌に掲載しています。会員は、随時、投稿することができます。

Ⅴ．研究成果の表彰(年１回)

会員の執筆された論文や著書のなかから、特に優れた業績に対して表彰しています。

①論文賞

日本情報経営学会誌に掲載された論文、または本学会が開催する大会（国際大会を含む）もしくは支部研究会報告に基づく論文を対象とする。

②論文奨励賞（涌田宏昭賞）

日本情報経営学会誌に掲載された論文、または本学会が開催する大会（国際大会を含む）もしくは支部研究会報告に基づく論文のうち、将来有望な若手研究会員が執筆したものを対象とする。

③著作賞

会員が執筆した著作を対象とする。

④著作奨励賞

将来有望な若手研究会員が単著により執筆したものを対象とする。

Ⅵ．国際大会(４年毎)

Ⅶ．地域支部主催の研究会

①北海道支部　②東北支部　③関東支部　④中部支部
⑤関西支部　⑥九州支部